



つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 290 号 2011.3.12 発行 社会政策研究所

=====

東北地方太平洋沖地震については、最新情報をご確認ください。【kobi】

きしむ天井や壁、厚労省職員ら一時避難- 東北大地震

キャリアブレイン 2011年3月11日

3月11日午後2時46分ごろに発生した「平成23(2011)年東北地方太平洋沖地震」では、東京都内も大きな揺れに襲われた。地上7階にあるCBニュース編集部でもパーテーションや植木が倒れたり、書類やパソコンが机から落下したりした。揺れは長く続き、一時は立ってられない状況だった。余震も続いた。気象庁によると、東京23区内では震度5強を記録した

厚生労働省がある中央合同庁舎(千代田区)の6階では、同省の「アレルギー疾患対策作業班」の会合が始まる直前に揺れが始まり、天井や壁がみしみしと音を立てた。事務局の健康局職員や委員らはあわてて机の下に隠れた。地震直後、庁舎内には避難を促す放送が流れ、各局の職員らは通りを挟んで東側にある日比谷公園に避難した。

省内の階段には日比谷公園に向かう人の流れができて、立ち止まれない状況。避難する人たちは、「怖い」「すごい揺れだった」などと不安そうに言葉を交わしていた。1階のロビーはたくさんの人でごった返した。エントランスでは、「立ち止まらないで」などと警備員が呼び掛けた。

日比谷公園には地震直後、周辺の官公庁やオフィスから避難者が押し寄せ、一時は歩く隙間もないほどだった。公園に入り切れない人たちが周辺の通りにも溢れた。携帯電話を掛ける人の姿が目立った。

港区内にある拠点病院の待合室には数人の姿があったが、混乱している様子はなかった。ただ、院内のコンビニエンスストアはたくさんの人で溢れ、買い物客らは地震の最新情報を口々に店員に尋ねていた。

港区医師会によると、午後5時現在、医療機関からは備品が棚から落ちるなどの被害が数件寄せられたものの、けが人が出たなどの報告はないという。

地震発生後、港区浜松町のJR線路上では、緊急停止した電車から降り、線路上を歩いて駅に向かう人の姿が見られた。JR浜松町駅では運転再開を待つ人が集まり、JR職員らが状況の説明に追われた。

電車をあきらめ、タクシーを探しているという30歳代の会社員は「タクシーもなかなか拾えない。このままでは歩いて会社に向かうしかないが、方向が良く分からない」と、戸惑いながら話していた。

24時間訪問介護看護サービス...政府が法改正案

読売新聞 2011年3月11日

政府は11日午前の閣議で、24時間対応の新たな訪問介護看護サービスを柱とする介

護保険法等改正案を決定した。

一人暮らしや、重度の要介護状態になっても住み慣れた地域で生活を続けられるように支援するのが狙い。2012年度の施行を目指す。

改正案には、時間帯を問わず、ヘルパーと看護師が定期的に自宅などを訪問するとともに、利用者からの要請で随時駆けつける新サービスの創設や、介護保険料の軽減策などが盛り込まれた。このほか、1 認知症高齢者を法的に守るため、一般市民を成年後見制度の後見人候補者として養成することを市町村などの努力義務とする 2 介護福祉士や一定の研修を修了した介護職員が、たんの吸引など一部の医療行為を業務として実施できるようにする 3 有料老人ホームやグループホームの事業者に、短期間で利用者が解約する場合の入居一時金の返還を義務づける—などの関連法案も今国会に提出する。

県から市町村への権限移譲進まず 希望に温度差

朝日新聞 2011年3月11日 宮崎

県の権限のうち、住民に身近な市町村に移譲できるとリストアップされた千を超す事務の移譲があまり進んでいない。必ずしも市町村が必要とする事務が候補になっていないことなどが原因とみられるが、昨年、閣議決定された地域主権戦略大綱に記載された事務は、いずれは法律で市町村の事務となる。このため、県と市町村は、知事肝いりの「連携推進会議」の議題とし、1年かけて移譲が必要な事務を話し合う。

県総合政策課によると、大綱では、市町村などの基礎自治体に251の事務の移譲などを行うとされた。このうち、県関係の事務は188項目あり、事務処理特例制度で、ほとんどが県から移譲できる項目に挙げられているが、実際の市町村への移譲はあまり進んでいないという。

大綱で権限移譲する事務とされたうち、県に関係するのは(1)すべての市町村に移譲する事務(2)すべての市に移譲する事務(3)中核市に移譲する事務(4)保健所設置市に移譲する事務—など。多くは市に移譲する事務だが、町村にも移譲する事務でも、地方自治法に基づく「町・字の新設などの届け出」は26市町村のうち18、母子保健法に基づく「低体重児の届け出の受理」は宮崎市を除く25市町村のうち17で移譲が済んでいるものの、「身体・知的障害者相談員への委託による相談対応」は、25市町村への移譲が済んでいない。

また、市に移譲する「家庭用品の販売業者に対する表示などの指示や違反業者の公表」に関する事務も、移譲を受けた市はゼロ。同じように移譲ゼロの事務は約20ある(一部、中核市の宮崎市には移譲済みの事務もある)。

県は大綱に挙げられた事務を含め、1087事務が移譲できるとしている。だが、最も移譲を受けている宮崎市でも687事務。ほとんどの市町村は200台の移譲数にとどまっている。

西米良村総務企画課は「村に該当する事務は多くない。職員数が少ないため、一職員の担当が増えてしまう面もある」と移譲が進まない要因を推測。また、宮崎市企画政策課は、国から地方への分権が進まない要因にも挙げられる「権限はなく、事務だけの移譲」の問題も指摘する。「県が挙げるメニューは必ずしもこちらが欲しい事務とは限らない。いずれ法律で移譲されるなら、それまでに受ける準備をしたいという課もある。ただ、どういう事務を移譲して欲しいか、話し合う場ができるのはありがたい」と話した。(中島健)

研修昼食代に3000円 県の包括外部監査結果 滋賀

産経新聞 2011年3月11日

滋賀県の障害者施設関連事業を対象にした平成22年度の包括外部監査結果報告書が10日、公表された。精神障害者施設で職員研修の昼食代として規定の3倍となる1人当た

り3千円が支払われていたほか、経費として認められていない利用者の親族に対する香典代も支出されていた。

外部監査は9施設の27事業について実施された。報告書ではこのほか、甲賀市の知的障害児施設「県立信楽学園」で指定管理料が割高なことなども指摘している。

監査人を務めた西村猛・公認会計士は「コスト削減を掲げているのに、補助金や委託金のチェック機能が弱い。県民への情報発信も不十分だ」と話している。

発達障害児専門的に保育～添田町が来月から

読売新聞 2011年3月11日 福岡



発達障害児を受け入れる町立みどり保育園

学習障害や自閉症といった発達障害児を専門的に受け入れる保育園の運営に、添田町が4月から乗り出す。県子育て支援課によると、自治体が発達障害児の保育事業を行うのは珍しいという。

発達障害児は、読み書きや計算の習得が遅かったり、他人との意思の疎通がうまくできなかつたりする傾向がある。一般的な保育園に通っても、他の子供たちとなじめず孤立化する恐れがあるため、周囲が早く理解し、早期の療育に取り組む重要性が指摘されている。

保護者から「発達障害児の専門的な保育を」と求める声が寄せられたことを受け、町は1月から、保育士2人を行橋市の知的障害児通園施設「行橋みらい学園」で研修させ、準備を進めてきた。

町立みどり保育園（添田町庄）で受け入れる。保育園の空き部屋（約70平方メートル）を活用。2人の保育士が専任で子供たちの保育に当たって自立を支援するほか、障害を理解するための保護者向けの研修を開いたり、相談に応じたりする。

受け入れ対象は0歳児から就学前の乳幼児で、定員約10人。保育時間は月～土曜の午前7時半～午後5時半。保護者が送迎すれば、町外からも通園できる。応募多数の場合は面談などで選考する。

町は「将来的には専任の保育士を増やし、発達障害児の受け入れをしっかりと進めていきたい」と話している。

問い合わせは町住民課社会福祉係（0947・82・1232）へ。

いわて経済：明日へ・中小企業の挑戦 社会福祉法人平成会 / 上 / 岩手

毎日新聞 2011年3月10日

望む場所で生活できるように 出所後の自立へ支援 - - 社会福祉法人平成会（一関市萩荘町駒下）

高齢者や知的障害を持つ人が刑務所、少年院などの矯正施設を出た後、望む場所で生活を営めるよう支援する機関が一関市幸町にある。県地域生活定着支援センターだ。社会福祉法人平成会（一関市萩荘町駒下）が09年12月に開設した。保護観察所とも協働で自立を支える。厚生労働省の事業で、各都道府県で設置が進んでいる。

支援の対象者とは出所の約1カ月前から刑務所などに向いて面談を重ねる。県内の施設は盛岡少年刑務所だけだが、岩手で暮らしたい人を対象にするため、宮城や群馬など各地へ出張する。必要な支援と無縁だった人も多く、一関の副センター長で精神保健福祉士の千葉久美子さん（27）は「対象者は福祉のイメージがわからず、どのように暮らしたいのかを聞き出すことから始める。1カ月では足りない」と話す。罪を自覚してもらうことも大切だという。

真っ先に問題になるのは「お金と住まい」。盛岡少年刑務所を出た男性の場合、単身生活を希望したが、すぐに住居は見つからず、一時的に更生保護施設を利用した。同時に療育手帳を取得し、体験就業を経て盛岡の事業所で働くようになった。保証人不要という理解のある大家も現れ、下宿も確保できた。

中高年では失業をきっかけに犯罪を犯すケースもあるという。主に事務を担当する相談員の瀬川みつさん（56）は「福祉とつながっていない人が多い」ことを実感した。2月には初めて刑務所で面談も担当した。一関ではセンター長以下4人の職員全員が専任で、他県のセンターより手厚い体制だ。開設以来6人を支援し、現在は3人にかかわっている。受け入れ施設への助言やサービス利用の相談などフォローアップ業務も重視している。

平成会の前理事長、故佐藤正春さんは出所後の生活困難で再び犯罪を犯す障害者に心を痛めていた。迷わず県の公募に手を挙げ、センターを開設した。

千葉さんは支援した人が笑顔で作業しているのを見ると、よかったと思う。【横井信洋】

障害者と健常者 ともに働くカフェ1周年 神戸

神戸新聞 2011年3月11日

障害者と健常者が一緒に働くカフェ。オープンから1周年を迎える = 神戸市北区山田町下谷上

障害者と健常者が一緒に働くカフェ「サンドイッチカフェ エスケール」が、神戸市北区の「しあわせの村」本館にオープンしてから4月で丸1年となる。当初から働く障害者5人は、新メニューや店の新聞作りに積極的に参加し、常連客も増えてきた。4月1～7日は1周年記念として、入店者先着200人にクッキーを贈る。（若林幹夫）



同カフェで働く障害者たちは、障害の程度などに合わせて調理場や接客を担当し、時給制で賃金を受け取っている。健常者と同じように一般就労するモデルケースとして期待されている。

飲食店で初めて働く障害者もあり、オープンしたころは注文の取り方などにぎこちなさがあったが、少しずつ“接客技術”が上達。今では、健常者の店員のサポートが必要となる状況はほとんどなくなった。

店の看板商品は、パンの生地から手作りするサンドイッチやハンバーガー。店員全員で意見を出し合って、種類を増やしたり、高齢者の希望を受けて和食のランチを始めたりした。下半身に重度障害のある店員の発案をもとに、新商品などをイラスト付きで紹介する手書きの新聞も店内で掲示している。

前面ガラス張りの店内は雰囲気明るく、イチゴのタルトやガトーショコラなどのケーキも人気が高い。しあわせの村を利用する高齢者や障害者を中心に毎月4千～5千人が訪れている。

精神障害がある須磨区の女性（38）は「カフェで働くようになってから前向きになったと言われるのがうれしい」と満足そう。同カフェを経営する三沢孝夫さん（49）は「店員たちは障害に関係なく、自信を持って働けるようになった。飲食店でも障害者を雇用できることを発信していきたい」と話していた。

1文字の書にあふれる個性 障害者らの作品、小浜で展示

朝日新聞 2011年3月11日 福井

小浜市学園町の県立大学小浜キャンパス・交流センターに、一般向けの作品展示スペースが設けられた。3月から2カ月間、嶺南の知的障害者らでつくる「いさざの会」の伸びやかで個性あふれる書が展示されている。

「いさざの会」の書の展示 = 小浜市学園町の県立大小浜キャンパス

作品の展示場所を提供し、市民に気軽に立ち寄ってもらう機会を増やそうと昨年11月、無料の「キャンパス・ギャラリー」を開設した。9家族が参加する「いさざの会」は2グループ目の展示。21～44歳の会員11人が「絆」「波」「美」など、1文字の作品を中心に30点を出品した。日常の出来事を書にしたものもある。



同会は2000年から月2回、書と絵画、陶芸の制作に取り組んできた。08年から、小浜市社会福祉協議会が「障害者アート」の豊かさを知ってもらおうと作品の貸出先を募り、市内の全公民館、商店街、事業所など30カ所余りで展示されている。

同会の大竹臣哉代表(56)は「筆を持つと、みな生き生きとしてくる。会話は苦手だが、作品を通して発せられる彼らの『声』を、ぜひ聞いてほしい」と話している。(土岐直彦)

「ていだドッグ」あす発売 琉球島和牛/ドリームパン合作

琉球新報 2011年3月9日



ドリームパンのパンと琉球島和牛を使ったていだドッグ
ていだブログを運営する「ていだスクエア」
(浦添市、上原稔社長)は、障害者福祉サービス
事業所天樹苑(那覇市)のパン工場「ドリーム
パン」のパンと北部農林高校の生徒らが開発に携わ
った「琉球島和牛」のソーセージを使ったホット
ドッグ「ていだドッグ」を10日から発売する。
ていだスクエアが運営するていだスクエアカ
フェ(浦添市牧港)で販売する

ていだスクエアがドリームパンの製品や琉球島和牛を扱っていたことから、両者の合作をコーディネートし製品化。ていだブログ内で活動するものづくりサークルが試食会を開いて改良を加えた。

パンはていだドッグ用に開発。白ゴマを練り込み、柔らかくあっさりとした味に仕上げ、味が強いソーセージとの相性を良くしている。見た目にもこだわり、焼き上がりが白くなるよう表面に卵を塗らずに焼いている。

琉球島和牛は北農高や食品流通の琉風(那覇市)、飲食店経営のワールド・ワン(神戸市)、山原牧場(大宜味村)が共同開発した。経産牛に泡盛かすなどを加えた発酵餌を与え肉質を改善している。

当面はていだスクエアカフェのみで販売。価格は280円(税込み)

問い合わせはていだスクエア(電話)098(870)0860。

たまには太陽の子・手をつなぐ、たまにはつなぐちゃんベクトル、たまにブログたまにはチェック



大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行